

【論考】

外国人留学生への就職支援の現状と対応策

-大学に求められる外国人留学生キャリア戦略-

Current Situation and Plan of Career Support for International Students: Desired Career Strategy for International

一般社団法人外国人留学生支援ネットワーク事務局長 久保田 学

KUBOTA Manabu

(Secretary General, International Students Support Network)

キーワード：外国人留学生就職支援、留学政策、フォローアップ

1. はじめに

2008年に文部科学省から日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界のためのヒト・モノ・カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020年をめどに30万人の受け入れを目指す「留学生30万人計画」が発表されたが、10年後の2018年5月1日現在で298,980人となり、目標の2020年の前にほぼ達成する見込みである。

一方で、出口の就職については、日本学生支援機構の「外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」によると外国人留学生就職者数は、2004年の5,705件から2016年は約2.5倍の14,493件に増加しているものの、外国人留学生修了者の約3割程度しか日本企業に就職できていない。(独)日本学生支援機構の調査では、約6割の学生が卒業・修了後の進路希望として日本での就職を希望しているので、日本での就職を希望しながら約半数が就職できていないというのが現状である。

本稿では、政府における外国人留学生の就職支援の政策の方向性から、教育機関に求められる支援体制の構築の方策について論じる。

2. 政府における留学生就職支援政策

2019年から施行される新たな在留資格「特定技能1号」及び「特定技能2号」の創設を踏まえ、2018年12月25日に「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」が閣議決定され、その中には、「留学生の就職を容易にするための在留資格の見直しを行うとともに、各大学における留学生の取扱い、

各企業における就職活動の在り方やその後の育成を含めて、幅広い対策を講ずることが必要である。」と記されている。具体的な政策の一部を抜粋すると、留学生の在留資格変更に関連する政策として、「大学を卒業する留学生が就職できる業種の幅を広げる。クールジャパン分野等の専門学校等を卒業する留学生が就職できる業務の幅を広げる。」や「一定の条件を満たす中小企業等への留学生の就職を支援するため、留学生が在留資格変更許可申請を行う際に必要となる各種提出書類について、大企業と同様の簡素化を図る。」等在留資格の緩和を行うことにより外国人留学生が就職しやすい環境を整備する。

また、受け入れ側の企業に対する政策として、「留学生の採用時に高い日本語能力（例えば、日本語能力試験N1相当以上）を求める企業もみられるが、業務に必要な日本語能力のレベルは企業ごとに様々であり、採用時に求める日本語能力水準には多様性があること等を踏まえ、その多様性に応じた採用プロセス及び採用後の待遇の多様化を推進する。」とあり、多様化する外国人留学生の日本語能力に配慮し、日本語能力の水準の多様性の環境整備を推進している。

一方で教育機関においても、「各大学院、大学、専修学校等に対し、進路相談等の外国人留学生への就職支援を促すため、各学校に対して、留学生数及び留学生の就職率を開示・公表するよう要請するとともに、就職支援の取り組みや就職状況に応じて教育機関に対する奨学金の優先配分を行う。」とあり、外国人留学生の就職支援に関する取り組みを推進している。

このように法令整備、企業側の採用環境、教育機関側の体制整備など外国人留学生の就職に関わるプレーヤー全体で就職しやすい環境構築を行う内容となっている。もちろん、今回の政策だけで就職環境整備が完全に補完されるわけではないが、外国人留学生の就職環境は現在に比べ好転することが見込まれる。

3. 教育機関に求められる留学生の就職支援

政府の方針として外国人留学生の就職支援を推進する方向性を示している中で、各教育機関は、外国人留学生の就職支援をどのように学内で位置づけるかという検討が必要となる。筆者も、毎年様々な教育機関において就職ガイダンスの講師や留学生向けのキャリア教育講座を実施し、また文部科学省の全国キャリアガイダンスを始め、教育機関の教職員向け研修会の講師を行うことで、多くの教育機関との情報交換を実施しているが、多くの教育機関は、キャリアセンターや国際センターにおいて外国人留学生と接点を持つ教職員が問題意識を持ち、自部署で完結できる支援を構築するケースが多くみられ、経営課題として外国人留学生の就職支援を全学で戦略的に構築している教育機関はまだ少数である。

多くの教育機関が、外国人留学生の支援に熱心な職員が自部署で実施する場合、その職員の個人的な尽力により成果を残せるケースがあるが、その職員が別部署に異動になると、構築した取り組み自

体が数年後に消滅するケースをよく見かける。

外国人留学生の就職支援事業を本格的に行うためには、学内の様々な部署が連携する必要がある、また、継続性と成果のスピードを求める場合は、教育機関のトップが戦略的な事業として位置づけ全学で実施することが求められる。

ある大学では、学長以下各部署の責任者を集め、外国人留学生の就職支援の専門家による研修会を開催した。研修会では、幹部からの「日本語ができない英語基準で入学した英語コースの外国人留学生向けの求人は探せばたくさんあるのではないか」、「日本人学生の就職支援へ誘導すれば済む話ではないか」、「そもそも日本で就職を希望する学生は多いのか?」（進路結果だけの把握をしているので就職希望が進学や帰国に移行した学生を把握していない）等の意見が出たが、外部の専門家から説明・解説することにより、外国人留学生向けの就職支援の必要性についての理解が深まり、外国人留学生向けの就職支援取り組みを体系化して実施することとなった。

就職支援の取り組みは、1年～2年の短期で成果が出るものではなく、継続して行うことで徐々に内定率の向上や自学に合った環境整備の構築につながるものである。

今後、教育機関における優秀な外国人留学生のリクルーティングについて、国内外の競争に勝ち抜くためには、リクルーティングと卒業後のキャリアは一体として考えることが必要であり、教育機関の経営課題として、外国人留学生が望むキャリアの実現を行うための体制整備が必要であり、早期に取り組みを始める必要があると考える。

4. 留学生の就職を阻害する要因と効果的な支援方法

外国人留学生の就職活動について一番の問題となるのが、世界的に見て日本の就職活動が独特な形態を採用しており、外国人留学生も日本人学生と同じ選考試験を受け就職活動を行わなければならないことである。日本の就職活動は、活動する開始時期が早く、期間が長く、選考方法が複雑である等独特の文化を持っており、特に採用基準の違いについては、海外からの外国人留学生はなかなか理解をすることができないようである。

筆者が長年外国人留学生のキャリア支援に携わる中で、外国人留学生の就職を阻害する要因として①日本語能力、②知識不足、③経験不足、④モチベーションの4つがあると考える。

①日本語能力

近年の外国人留学生は、ベトナムやネパールなどの非漢字圏の外国人留学生の増加、大学における、英語基準の入試・授業を展開するコースの増加などに伴い、外国人留学生の日本語能力の低下がみられる。

また、教育機関の学習環境においても専門学校での外国人留学生の急激な増加、大学においては一

部の学部偏った外国人留学生の受け入れにより、学習環境下において日本人学生との接点が希薄になり、外国人留学生が日本語を使用する機会の減少が起こっている。

特に非漢字圏の学生は、日本語の学習期間も短く、就職活動時に企業の採用基準に到達していない外国人留学生が増加している。

教育機関から非漢字圏の日本語能力が低い学生の就職支援はどのようにしたらよいか質問を受けるが、解決方法は、日本語能力の基準は企業が提示している採用条件なので、企業が求める日本語能力に到達させる日本語教育を行うか、日本語能力の基準を低くしている企業を自学で開拓するかの2つしかないと考える。

②知識不足

日本の就職活動は独特な文化を持っているため、就職活動の手順を理解する学生は増えてきたものの、採用基準や条件、ルールなどの本質的な違いができていないため結果、知識不足に陥る外国人留学生が多い。このような知識不足の外国人留学生に対しては、外国人留学生に特化したガイダンスの開催が必要となる。

外国人留学生に特化したガイダンスの運営については、できれば最低2回は実施することが望ましい。1回目は、入学時の入学ガイダンスで、①日本での就職の現状、②スケジュール、③就職するための条件（特に日本語能力）④採用基準の違い、については必ず情報提供を行い、日本で就職するためには、能力、知識より日本の就職活動に対応するための準備が必要という理解が必要である。特に英語コースの留学生は、入学当初から自主的に日本語教育科目を履修しない限り、企業が求める日本語能力の到達は望めないため、企業が設定する日本語能力の基準を説明する必要がある。

2回目は、就職活動準備ガイダンスを就職活動開始年次の夏ごろから秋にかけて実施し、日本の就職活動の流れと採用試験の説明と準備について説明することが必要である。

③経験不足

最近の外国人留学生の傾向として、留学の目的意識が欠如している学生が増えている。アルバイト、日本語の習得、授業のサイクルを何も考えず義務的に（作業として）過ごしており、就職活動で作成するエントリーシートの作成段階で記載するための経験値が不足している留学生が多く見られる。例えば学生時代に何に力を入れたかという問いに対して、「日本語の勉強を頑張りました。授業も休まずわからないことは先生に聞いて勉強しました。」等、採用活動において、企業が知りたい行動や考えから見える特性や将来に対する目標が書けない学生が多い。

この問題を解決するためには、低学年時における学生生活計画の立案の必要性や社会人基礎力、PDCAサイクル等を含めた低学年次向けのキャリア教育を行う必要があると考える。低学年時向けのキャリ

ア教育については、学業の修得とともに人間としての成長をするために、経験や能力をいかに学生生活で身につけるかを中心に行われており、特に外国人留学生へ行うポイントとして、成果（経験）を達成するための過程が重要であり、どのように考えどのように行動したかを意識して生活する習慣を身につけることが大事であると考える。

④モチベーション

近年、中国出身の外国人留学生を中心に日本での就職に固執しない学生が増えている。当然教育機関は、卒業予定者全員に就職支援を行うわけではなく、就職希望者に対して支援を行うべきではあるが、教育機関側で就職希望者の把握をいかに適切なタイミングで行い、支援対象者の確定を行うかが効率的な支援につながる。

一方で、多様な価値観を持つ学生が増えたことにより進路希望の決定の時期が遅くなっている傾向もみられ、進路を考えるための高学年向けのキャリア教育も必要と考える。2017年度より文部科学省が実施している「留学生就職促進プログラム」では、全国で12大学が外国人留学生のキャリア教育、ビジネス日本語教育を実施しており、外国人留学生向けのキャリア教育を行う大学が徐々に増えてきている。外国人留学生の進路は大きく分けて①日本で働く、②母国で働く、③日本で働いたのちに母国や第三国で働くの3種類が考えられる。この3つのキャリアを想定した上で必要な材料・調査するための方法論を提示した上で、自ら作業し進路決定へと導くことが高学年向けキャリア教育において必要となると考える。

5. おわりに

外国人留学生の就職支援事業については、教育機関における外国人留学生数や規模、地域性等により状況が変わる為、教育機関がおかれている状況に合わせた支援を実施することが求められるが、学内の留学生の数が少ないという理由で、日本人学生向け支援に誘導するだけで何も行わない大学も数多く、就職活動の情報がないまま、就職活動を行い、その結果就職できず帰国や進学する外国人留学生が多い。大学における外国人留学生の就職支援は、国の機関や自治体、地域の団体などからツールや情報の提供など連携を行う事で、財源や人的資源の負担が少ない支援の方法もあるので、できる範囲から支援を実施することは必須であると考えられる。

また、既に外国人留学生の就職支援を実施している大学については、自校の取り組みについて、常に客観的な視線で振り返り、外国人留学生にとって有益な支援なのかチェックすることにより、支援メニューや手法をブラッシュアップしていく必要がある。

また、これまで外国人留学生の就職支援については、課外の支援事業としてキャリアセンターや国際センターが中心となって実施する形式が多かったが、支援事業を行っても学生の参加率が悪いなど

必要な学生に対して支援ができないため、最近は、正課のカリキュラムとしてキャリア教育の中で実施する教育機関も増えてきた。

今後、外国人留学生の獲得において競争の激化が予測される中で出口における就職支援は入口のリクルーティング戦略と表裏一体の関係にあり、外国人留学生の卒業後のキャリアの選択肢の一つとして戦略的課題として位置づけ充実させていくことが教育機関に求められる。

【参考文献】

日本学生支援機構「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2018/index.html

日本学生支援機構「外国人留学生進路状況・学位授与状況調査」

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_d/index.html

平成29年度私費外国人留学生生活実態調査概要

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/ryuj_chosa/h29.html

法務省「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」

<http://www.moj.go.jp/content/001280353.pdf>